



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 新日本理化学株式会社

コード番号 4406 URL <http://www.nj-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 藤本 万太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長

(氏名) 石野 淳

TEL 06-6202-6598

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	7,336	1.0	55	576.9	186	247.6	147	—
25年3月期第1四半期	7,265	△6.0	8	△97.4	53	△87.1	△14	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 371百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.96	—
25年3月期第1四半期	△0.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	35,164	12,741	34.3	322.99
25年3月期	34,227	12,378	34.1	313.34

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 12,044百万円 25年3月期 11,684百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	20.3	320	—	460	—	310	—	8.31
通期	34,100	19.7	650	—	930	—	630	—	16.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	38,008,906 株	25年3月期	38,008,906 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	719,186 株	25年3月期	719,129 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	37,289,748 株	25年3月期1Q	37,290,498 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融政策や財政政策により円安、株高基調で推移するなど、緩やかな持ち直しの傾向が見られる一方で、長引く欧州経済の停滞や新興国経済の減速などの影響もあり、依然として先行きの不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、海外事業展開の加速に向け、市場のニーズにあった供給・販売体制の構築などを目的に海外拠点への人材投入を積極的に推進してまいりましたほか、従来にも増したコストダウン活動や顧客満足を高めるべく提案営業活動を推し進め、安定した収益基盤の確立に取り組んでまいりました。

しかしながら、長期化する欧州経済の低迷に加えて、高値原料使用に伴う製品高などにより企業収益が圧迫されたことから、厳しい事業環境が続きました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は73億3千6百万円（前年同四半期比1.0%増）となり、損益面では、営業利益5千5百万円（前年同四半期比576.9%増）、経常利益1億8千6百万円（前年同四半期比247.6%増）、四半期純利益1億4千7百万円（前年同四半期は1千4百万円の四半期純損失）を計上する結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

油脂製品セグメント

脂肪酸・グリセリン等の油脂製品部門では、医薬分野向けへのグリセリンの販売が増加しましたが、長期に渡るステアリン酸の輸入品の攻勢が大きく影響しましたため、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

アルコール製品部門では、飽和アルコールが国内販売先の需要回復や輸出販売の好調もありましたが、繊維油剤向けの不飽和アルコールが輸入品の影響により低調に推移いたしましたため、アルコール部門全体としての販売数量は前年並みを維持したものの、原料価格の下落から価格是正を余儀なくされたため、売上高は減少いたしました。

以上の結果、油脂製品セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は22億6千1百万円（前年同四半期比8.3%減）、セグメント損失は5千3百万円（前年同四半期は5千2百万円のセグメント損失）となりました。

石化製品セグメント

化成品部門では、可塑剤は壁紙や床材などの建材用途向けにおいて復調の兆しがみられましたほか、自動車関連向け出荷も伸長しましたが、住宅関連向け需要が盛り上がりには欠けましたことから、販売数量は微増となりました。一方、収益面におきましては原料高に応じた販売価格の改定を実施いたしましたものの、改定後の製品の出荷時期がずれ込むことにより、当期においては厳しい結果となりました。

機能製品部門は、自動車関連向けは順調に推移いたしましたものの、電機関連業界においては依然として需要の低迷が続いているため、国内での販売数量、売上高ともに前年を下回る結果となりました。また、輸出におきましても、欧州や中国で需要の低迷が続いたほか、原料価格の高騰に加え、海外市況が下落したため、販売数量、売上高ともに減少いたしました。

樹脂添加剤は、国内販売において原料価格の高騰に応じた製品価格への転嫁とともに、販売数量の拡大に努めましたため、販売数量、売上高ともに増加いたしました。

以上の結果、石化製品セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は44億2千3百万円(前年同四半期比6.0%増)、セグメント利益は9千8百万円(前年同四半期比83.8%増)となりました。

その他セグメント

その他セグメントにおきましては、車両洗剤は好調に推移いたしましたが、防錆剤、水溶性切削油ならびに業務用洗剤が低調に推移したことにより、厳しい販売結果となりました。一方、商社部門では住宅関連向けの新製品販売が順調に推移いたしましたため、総じて前年に比べて売上高は微増となりました。

以上の結果、その他セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は6億5千1百万円(前年同四半期比3.8%増)、セグメント利益は1千万円(前年同四半期比110.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前年度末比+2.7%、金額で9億3千7百万円増加し351億6千4百万円となりました。

流動資産につきましては、受取手形及び売掛金が増加したことなどにより前年度末比+2.2%、金額で3億8千9百万円増加し、182億8千5百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産、投資有価証券が増加したことなどにより前年度末比+3.4%、金額で5億4千7百万円増加し、168億7千8百万円となりました。

流動負債につきましては、短期借入金の増加などにより前年度末比+4.8%、金額で6億2千8百万円増加し、138億3千7百万円となりました。固定負債につきましては、長期借入金の減少などにより前年度末比△0.6%、金額で5千4百万円減少し、85億8千5百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益を計上したこと、為替換算調整勘定が増加したことなどにより前年度末比+2.9%、金額で3億6千2百万円増加し127億4千1百万円となりました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は34.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月14日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,238	2,004
受取手形及び売掛金	10,871	11,180
商品及び製品	2,276	2,278
仕掛品	1,266	1,328
原材料及び貯蔵品	1,116	1,124
その他	129	372
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	17,896	18,285
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,464	3,464
その他(純額)	5,885	6,159
有形固定資産合計	9,349	9,624
無形固定資産	76	76
投資その他の資産		
投資有価証券	6,506	6,784
その他	401	396
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,904	7,177
固定資産合計	16,331	16,878
資産合計	34,227	35,164

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,633	6,744
短期借入金	1,660	2,048
1年内返済予定の長期借入金	2,397	2,347
1年内償還予定の社債	237	237
未払法人税等	45	35
賞与引当金	243	84
その他	1,991	2,339
流動負債合計	13,208	13,837
固定負債		
社債	114	109
長期借入金	5,001	4,966
退職給付引当金	1,924	1,916
役員退職慰労引当金	49	50
負ののれん	224	194
その他	1,325	1,347
固定負債合計	8,639	8,585
負債合計	21,848	22,422
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,660	5,660
資本剰余金	4,246	4,246
利益剰余金	1,841	1,988
自己株式	△170	△170
株主資本合計	11,578	11,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	779	837
為替換算調整勘定	△673	△519
その他の包括利益累計額合計	105	318
少数株主持分	694	697
純資産合計	12,378	12,741
負債純資産合計	34,227	35,164

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	7,265	7,336
売上原価	6,127	6,231
売上総利益	1,137	1,104
販売費及び一般管理費	1,129	1,049
営業利益	8	55
営業外収益		
受取配当金	53	55
負ののれん償却額	29	29
持分法による投資利益	45	41
その他	6	41
営業外収益合計	134	168
営業外費用		
支払利息	34	32
為替差損	29	—
その他	24	4
営業外費用合計	89	36
経常利益	53	186
特別損失		
固定資産除却損	6	2
投資有価証券評価損	21	—
その他	6	—
特別損失合計	34	2
税金等調整前四半期純利益	19	184
法人税、住民税及び事業税	22	27
法人税等調整額	4	△2
法人税等合計	26	25
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7	159
少数株主利益	7	11
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△14	147

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△7	159
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△174	58
為替換算調整勘定	△2	1
持分法適用会社に対する持分相当額	175	153
その他の包括利益合計	△2	212
四半期包括利益	△9	371
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17	360
少数株主に係る四半期包括利益	7	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,466	4,171	6,638	627	7,265	—	7,265
セグメント間の内部 売上高又は振替高	115	283	398	59	457	△457	—
計	2,581	4,455	7,037	686	7,723	△457	7,265
セグメント利益又は 損失(△)	△52	53	0	5	5	2	8

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	油脂製品	石化製品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,261	4,423	6,684	651	7,336	—	7,336
セグメント間の内部 売上高又は振替高	122	291	413	47	460	△460	—
計	2,384	4,714	7,098	698	7,796	△460	7,336
セグメント利益又は 損失(△)	△53	98	44	10	55	0	55

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、業務用洗剤、油剤の製造販売事業、化学製品ほかの仕入販売事業および保険代理事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。